

学 校 名	小金井市立南小学校	実施年月日	平成16年12月21日
指 導 者	綿井 登貴子	授業コード	B-5
学 年	6学年	教 科	道徳
単 元 名	禁止がいっぱい		
単 元 の 目 標	本単元では、自由・規律を重点目標として掲げる。自由と規律の両面の立場からの討論となると思うが、お互いの立場を尊重しながら話をし合い、判断力の向上を目指したい。		
単元の指導計画	全1時間扱い		
本時のねらい	社会生活を営むにあたっては自由と規律のどちらもが大切であり、かつ必要であるということを理解し、二つの異なる価値について考える態度を養う。		

本時の学習活動の展開

導 入	<p>【1】 HP上のシンガポールの画像を見ることにより、シンガポールという国についての概要を知る。(位置、文化、人種、産業等)</p> <p>【2】 同じHP上のシンガポールの風景を見て気づいたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちのつぶやきを拾う。 ・ 「ゴミが落ちていない。」「清潔感がある」 ・ 「きれい」
展 開	<p>【3】 資料「禁止がいっぱい」を教師の音読により聞く。</p> <p>【4】 シンガポール総領事館のHPより、シンガポールの法律を知る。</p> <p>【5】 禁止事項のかかれた画像を見る。</p> <p>【6】 日本とシンガポールについて自分の考えを今までの情報を元にしてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まとめやすいように、自分の考えを文章に書いてまとめさせる。 <p>【7】 話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どちらの立場も受け止め、一方だけの意見に偏らないように配慮する。 ・ 友達の意見を聞いて考えが変わることも認める。
ま と め	<p>【8】 シンガポールの中学生がボランティアをしている画像を見せる。</p> <p>【9】 両方の立場の意見のいいところを取り上げ、自由と規律の兼ね合いについて考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの生活を振り返り、これからの生活態度の向上を促す。
デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	<p>今回の授業では日本と異なる法律をもつシンガポールという国を取り上げて題材としている。そのため、シンガポールという国についての理解を深める一助として、デジタルコンテンツを利用する。</p> <p>言葉だけでなく実際の映像を見ることにより、提示される話題に興味・関心がより喚起されることであろう。また、現実のこととして問題をとらえ、自分たちの生活を振り返ることも容易になると考える。</p>

(備考1) 枠の大きさを変更しても構いません。

(備考2) 学習活動の展開については自由フォーマットの別紙を添付しても構いません。その際はその旨を上枠に記入してください。